

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和4年6月1日 第23号
奈良県下市町教育委員会
教育長 小谷 隆男 発行

下市あきつ学園

～ 9年一貫した「学び」に向けて ～



小学校でも中学校でもありません。「下市あきつ学園」は、奈良県8番目の義務教育学校として令和5年に開校します。

<義務教育学校の主な特徴>

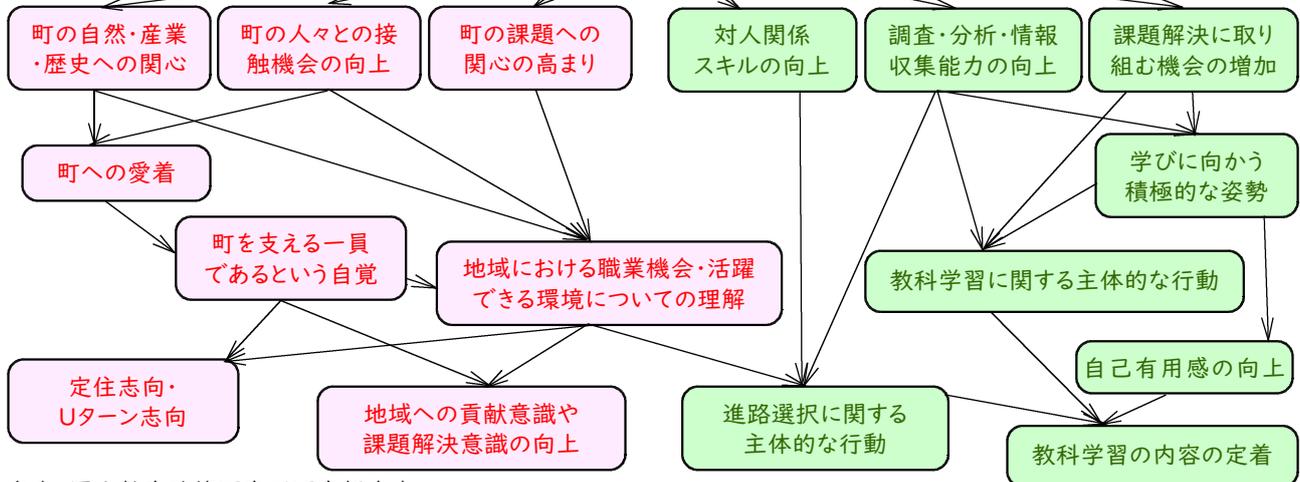
- 1つの職員室で一貫した教育を行い、**小・中のギャップを解消**
- 教員は小・中**両方の教員免許**が必要(当面はどちらかで可)
- 1人の子どもに関わる**教職員の人数は倍以上**
- 9年間の継続指導を生かし、**学習のつまづきに素早く対応**
- 教育課程の特例として、**独自の教科を設定可能** など

修業年限は9年で、小学校の課程を「前期課程」、中学校の課程を「後期課程」と呼びます。

下市あきつ学園は、**校長一人、教頭二人、養護教諭、事務職員も二人ずつ配置**されます。教員は小・中の区別なく児童・生徒を指導し、5年生以上は基本的に教科担任制で授業をおこないます。

また、教育課程の特例を活用して、SDGsの理念と下市町をフィールドにした独自の**郷土学習「下市学」カリキュラムを構築**し、全人的な子どもの「学び」をサポートします。

下市あきつ学園が取り組む「下市学」 (SDGs×下市町をテーマとした探究的な学び)



参考:国立教育政策研究所研究報告書

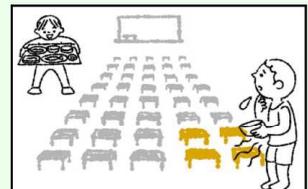
誰一人取り残されない社会へ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2 飢餓をゼロに



世界を生徒40人の教室と考え、その日食べるものがない、明日以降も食べ物を得られないかわからない状態の人が**4人**もいます。「飢えをなくし、だれもが栄養のある食料を十分に手に入れられるよう、地球の環境を守りながら農業を進めよう」というのがSDGs2番目の目標です。世界各国が協力し2030年までに達成する目標としています。



<学校では、SDGsの理念と下市町をコラボで学ぶ郷土学習「下市学」を進めていきます。>

先人の息づかいが聞こえる ～稲作農具～



原野の鍵谷さんから、昔の農具を譲り受けました。「千歯扱き」や「千石通し」など、江戸から明治にかけて稲作に使用していたものと思われます。**貴重な資料として郷土資料館に保存し、見学させたいと思います。ありがとうございました。**

せんばこ 【千歯扱き】



に伸びた。当時は画期的な農具だった。

…籾(もみ)がついたままの稲の先をはさんで、引き抜くと籾だけが落ちる脱穀用の農具。17世紀末に発明され、作業効率は飛躍的に伸びた。当時は画期的な農具だった。



せんごくとお 【千石通し】



に伸びた。当時は画期的な農具だった。

…脱穀した籾(もみ)を選別する農具。籾を入れると、網目から籾だけが落ち、穂やごみを取り除くことが出来た。籾と玄米の選別、くず米の除去に用いられた。



下市のゲートボール・県代表へ

5月17日、「第34回ねりんピック」(厚生労働省主催・全国健康福祉祭)の奈良県代表を決める大会において、参加数30を超える中、見事**下市町ゲートボール2チームが1位、2位**になりました。神奈川県での全国大会の出場枠を、下市町が獲得。4月の国体予選に続き素晴らしいニュースです。



< 優勝した「ごんた下市」と、2位の「下市」の皆さん >

日本の教育「超過勤務」の課題

▼日本の教員は「子どもたちのために」という言葉に弱く、勤務時間を超えても頑張る傾向があります。通学指導や保護者対応など、業務が過剰になる傾向は下市町も同じです。

<R4の基本>	出・退勤時間	休憩
こども園の先生	8:00～16:45	60分
小・中の先生	8:10～16:40	45分

▼先生方には常に元気に子どもと向き合ってほしい…。**そのための働き方改革が必要**です。

「菊田コレクション」③ 旧下市村の古地図 ～ 文明開化の明治5年 ～

約150年前、明治5年の「大和国吉野郡下市村」の古地図が菊田氏の遺品の中にありました。右の写真では、千石橋(左下)付近ですが、実物は**秋野川沿いに南へ続く、1mほどの巻紙**です。氏神八幡大明神の文字(右上)や家々の名が見え、今とあまり変わらない道筋や川の流れです。

左上に人口が記してあるところから、この地図は公的な文書だったと想像できます。**戸数665軒、人数2,658人、男1,327人、女1,331人**、社三ヶ所、寺院八ヶ所と読めます。秋野川沿いの旧下市村だけの数字としては、相当な人数です。歴史を調べるための優れた教材となりそうです。



校歌・校章

2ヶ月間に渡り、町内に公募していた「下市あきつ学園」の校歌・校章でしたが、5月31日で締切りとなりました。校歌、校章ともに応募がありました。ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました。その中で優秀作品があれば、小・中学生自身に最後は選んでもらいます。結果はこの紙面でお知らせいたします。

ご意見・お問い合わせは…
下市町教育委員会事務局
☎ 0747-52-1711
FAX 0747-52-5159
✉ kyoi@town.shimoichi.nara.jp